



令和元年度 第2回学校評価結果のお知らせ

保護者の皆様には、お忙しい中「学校評価アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。結果がまとまりましたのでご報告いたします。

梅津北小学校が学校教育目標の実現に向けて、特に大事にしたいことに絞ってアンケートをとり、保護者の皆様からのご意見・児童（低学年、高学年）へのアンケート結果・教職員の自校評価を第1回のアンケート結果と比較し、継続すべきところ、改善すべきところを明らかにして、今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。

また、第2回目のアンケートでは、第1回目のアンケートの意見を反映させ、保護者の方が子どもと共に成長できるような内容に一部変更しました。そこに記入された意見を多く紙面に載せることで、『学校』『地域』『保護者』の連携をより強めていければと思います。

アンケートの方法

アンケートの項目を、【◆確かな学力】【◆豊かな心・健やかな体】【◆学校・家庭・地域の連携】のグループに分け、それぞれの項目について「重要度－実現度」を尋ねる形式にしました。この二つを相互に関連させたとき、重要度・実現度がともに高い項目は比較的肯定的なご意見が多く、重要度が高く実現度が低い項目は本校の課題とみることができます。

アンケートの最後には、児童には【他に意見があったら書きましょう。】、保護者には【ご家庭で、お子さんの成長のために意識されていることなどがございましたら、ご記入ください。】という内容で、自由に記述できる欄を設けました。

アンケート結果より ～全項目は掲載できませんので、ご了承ください。～

（「よく出来ている」「大体出来ている」を合わせて「実現度」を表記しています。）

【◆確かな学力】



子どもにとって授業がよくわかること (児童：授業中、学習がよくわかること)		第1回	第2回
	保護者	80.8%	83.1%↑
	低学年児童	86.9%	92.3%↑
	高学年児童	90.9%	92.5%↑
	教職員	63.6%	80.8%↑

授業中、しっかり話が聞けること		第1回	第2回
	低学年児童	89.6%	94.0%↑
	高学年児童	89.8%	91.9%↑

授業中、しっかり発表すること		第1回	第2回
	低学年児童	83.2%	80.9%↓
	高学年児童	59.4%	58.6%↓

本校では「伝える力」の育成に向けて、どのように授業を進めていけばよいかを年間を通して校内研修を行っています。教職員の割合の大幅な増加は、それらの研修を丁寧に積み上げられていることの表れでもあ

ります。授業力の向上が、児童はもちろん、保護者の方にまでとどいているのだと、励みになる数値となりました。ありがとうございました。

次に「伝える力」の育成に関わる項目である2つです。「話を聞くこと」については、低学年・高学年児童とも90%を超える割合となり、増加しています。一方「発表すること」については割合がわずかに減少しています。しかし、昨年度の割合と比べるとどちらの項目も割合は高くなっています。それは、今年一年間の取組が確実に児童の力となっている表れだと思います。今年度の取組の成果と課題を教職員で共有し、来年度につなげていきたいと思っています。



○児童【他に意見があったら書きましょう。】

- ・家で九九れんしゅうをして、九九名人になりました。
- ・かけざんの分からないところを、復習しています。
- ・学習発表会で、ちゃんと大きな声で言えたのでよかったです。
- ・発表するときに大きな声で言うことをがんばりました。
- ・しせいをしっかりして、先生の話聞く。



○保護者【ご家庭で、お子さんの成長のために意識されていることなどがございましたら、ご記入ください。】

- ・勉強がどんどん難しくなるので、宿題はできるだけ見直しして直しをさせてから提出する。
- ・読書習慣をつけることです。本を買ったり借りたりするのですが、その1冊はなんとか読み切るものの、なかなか次へつながりません。
- ・本を読む機会をつくるよう、意識し始めました。自分が日常で経験できないことが詰まっているので、本の良さを改めて実感しています。

【◆豊かな心・健やかな体】



子どもが「おはよう」などのあいさつや「ありがとう」と進んで言えること		第1回	第2回
	保護者	81.0%	81.0%—
	低学年児童	92.3%	94.5%↑
	高学年児童	94.7%	91.9%↓
	教職員	65.2%	65.4%↑

子どもが早寝・早起き・朝ごはんの生活習慣を身に付けていること (児童：早寝・早起きなど、決められた生活をする)		第1回	第2回
	保護者	77.5%	75.0%↓
	低学年児童	79.8%	77.6%↓
	高学年児童	76.9%	73.6%↓
	教職員	69.6%	65.4%↓

子どもが温かい仲間意識をもち、思いやりや親切な心を育むこと (児童：友だちと仲良くすること)		第1回	第2回
	保護者	91.3%	93.2%↑
	低学年児童	94.5%	97.8%↑
	高学年児童	95.7%	94.7%↓
	教職員	73.9%	80.7%↑

あいさつについては、高学年児童の割合は若干減少しましたが、「よく出来ている」と答えた児童の割合は1回目より約10%増加しています。児童全体の印象として、進んであいさつしている姿が見られるので、教職員の割合も増加したのだと思います。



生活習慣については全体に減少しています。時期的に、寒くなってきて朝が起きにくく、朝食も短時間で済ませたり、ついつい遅くまでテレビやゲームなどをして、寝る時刻が遅くなったりするのかもしれませんが。この機会に改めて起床時刻や就寝時刻、テレビやゲームの使用のルールを、ご家庭で話し合ってもらえればと思います。

友だちと仲良くすることについては、「いじめ0」の取組を、運営委員会（児童会）が中心となり進めています。夏休みに運営委員会の代表2名が『京キッズ会議』に出席し、「いじめ0」の取組について発表し

ました。その内容をなかよし集会（全校集会）で伝え、学校全体で考える機会も持ちました。そのような取組もあり、全体として割合が増加しています。児童、保護者とも関心が高く、自由記述欄の記入も多かったです。昨年の流行語にもあったように「ONE TEAM」で、これからも仲間を大切に過ごしてほしいです。

○児童【他に意見があったら書きましょう。】



- ・外で遊ぶようにしている。
- ・けんかをしないようにしている。
- ・がんばって友だちと仲良くしているけれど、何か言われていやな時は、どうしたらいいのか考えます。

○保護者【ご家庭で、お子さんの成長のために意識されていることなどがございましたら、ご記入ください。】

- ・あいさつ、身だしなみ、食事マナー等、大人になったら教えてもらえないことをきちんとできるように注意している。
- ・自ら挨拶する。素直に謝る。
- ・早寝早起き、あいさつ、感謝など、当たり前のことが自然にできるように親が手本を見せられるよう努力しています。
- ・約束を守る、きまりを守る、時間を守るなど、親も子どもと決めた約束は、小さなことでもきちんと守っていかうと思っている。
- ・親が生活リズムを整えてやることを大切にしてきたが、自分で時間を管理できるようにしている。帰宅後から就寝までにすべきことを考えて行動することで、社会に必要な段取りする力を育てている。
- ・心と体が元気でいられるように、睡眠（早寝）と食事（美味しく楽しく）を意識しています。
- ・体力があれば色々なことに挑戦できると思うので、興味のあるスポーツはどんどんチャレンジさせたい。
- ・座った時の姿勢が悪く、すぐに肘をついてしまうので、よく注意をしている。
- ・友だちと仲良く遊ぶこと、友だちが困っていたら思いやり持って行動するように教えていきたい。
- ・人を大切にすること。
- ・他人を思いやり、協調性を身に付けること。
- ・あいさつ、整理整頓、出来ることは自分でさせるようにしている。



【◆学校・家庭・地域との連携】



		第1回	第2回
PTA 活動・地域活動が積極的に行われること	保護者	76.2%	71.4%↓
	教職員	81.9%	80.8%↓

		第1回	第2回
子どもが地域行事やPTA行事に参加すること (児童：PTA行事や地域の行事に進んで参加すること)	保護者	54.2%	56.4%↑
	低学年児童	56.5%	58.0%↑
	高学年児童	54.8%	55.9%↑
	教職員	47.8%	80.7%↑

		第1回	第2回
学校であったことを家で話すこと	低学年児童	82.0%	84.7%↑
	高学年児童	83.4%	83.4%-

PTA行事や地域行事に参加することについての割合は増加しています。しかし、PTA活動・地域活動が積極的に行われることについての割合は減少しています。いつも梅津北の児童がよりよく成長できるように考えてくださっているPTA・地域の皆様の活動を十分に伝えられていないのだと思います。学校だよりやホームページなどを活用し、活動の様子を発信できるようにしていきたいです。



また、学校であったことを家で話すことについては、例年高い割合となっています。各ご家庭でも心がけていただいていることが大きな要因だと思います。これからも継続していただきたいと思います。

○保護者【ご家庭で、お子さんの成長のために意識されていることなどがございましたら、ご記入ください。】

- ・地域活動がとても楽しみなので、変わらず続けてください。
- ・良いことも悪いことも、話を聞いて一緒に考えるようにしています。フィードバックも必要な時はやるようにしています。
- ・なるべく話を聞くようにしています。学校や友だちの話など聞いて、悩んでいないかどうか確かめます。
- ・自分の考えや思いを口に出し、正しく伝えられるように、日々会話をたくさんするようにしています。
- ・良いことも悪いことも親に話せる環境づくりを意識しています。成長と共に出てくる様々な悩みなどを一緒に考えて解決し、子ども自身が前向きに歩んでいけるよう、何でも話せる地盤を固めていきたいとします。
- ・毎日子どもの顔を見て、体に触れて話を聞くこと。
- ・子どもと一緒に何かをする時間を作ること。
- ・家ではわがままを言ったり、ある程度えらそうな口をきいたりしても、叱らずに気長に相手をしてやるようにしています。
- ・事件でも災害でもとにかく一番大事なのは、まず自分の命を守ることだと言っています。
- ・子どもの安全面と心の安定を保つように気を配るようにしています。



【学校運営協議会でのご意見】

- ・これだけ学力の上がる学校は無いと聞いている。
- ・『授業中、しっかり発表すること』の高学年の割合が低い。高学年になると「間違えたくない」「周りの目が気になる」などの思いから、発表することに苦手意識を持つ児童は多くなる。
- ・数値として、知識としての学力の定着は見られるが、伝える力（話す・聞く）ことには課題がある。
- ・自分が思っていることを言えることは大切。友だちの間や休み時間に話せないわけではないだろうが。
- ・宿題を児童館でやり切りたいと思う児童が多い。そういう意欲はこれまで見られなかった。
- ・児童のスマートフォンの所持の割合は増えてきている。オンラインゲームの所持の割合が非常に高い。
- ・遅刻してくる児童に話を聞くと、ゲームをしていて寝るのが遅くなるという理由が多い。遅れると、授業が途中からになり、結局理解できなくなる。
- ・登下校中など、顔見知りや学校と関わりのある人には、子どもたちから挨拶してくれる。
- ・地域の各種団体や自治会が、子どもたちが楽しめる活動の場を提供している。夏まつりやもちつき、防災訓練などたくさんの活動をしてもらっている。
- ・地域は高齢の方も多く、自治会の加入率も減っている。
- ・地域でよい姿を見せた児童は、学校に連絡し、学校でもほめてもらえるように連絡している。
- ・安全面、防災面の指導については、防犯・交通安全・警察・消防と連携をとることが必要。
- ・安全面、防災面の指導を、保護者も一緒に聞いてほしい。そして一緒に家で考えてほしい。
- ・児童の下校時刻に合わせての見守りへの協力の実際はどうなっているのか。地域への働きかけを続けていくことは大切。
- ・来年度から、5・6年の英語は教科化になり、プログラミング教育も入って、今のままでは追いつけないので、今ある行事の見直しやカリキュラムの関連付けなどが必要になる。
- ・「よく出来ている」「大体出来ている」の割合ばかりでなく、「あまり出来ていない」「出来ていない」割合での分析も必要なのではないか。



貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。今後とも、梅津北小学校児童のよりよい成長に向け、【学校】【地域】【家庭】と連携していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。